

< News Clip 2022年5月11日 >

WEC緊急調査レポート “World Energy Pulse 2022（第1報）”の公開

WECは、気候変動・パンデミック・**欧州における紛争**がエネルギー情勢にどういった影響を及ぼしているか、各国のエネルギー界のリーダーを対象に緊急意識調査を実施、公表（調査：2022年4月）しました。（※詳細は下記 WECリンク先を参照。 英文）

【1：気候変動と紛争への関心の高まり】

：紛争によるエネルギー安全保障危機と地球環境問題へ注目が集中。回答者の約半数（46%）が**エネルギー安全保障、環境持続可能性、エネルギーの経済性、の三側面のバランス**を最優先事項と指摘。

【2：エネルギー変革の加速】

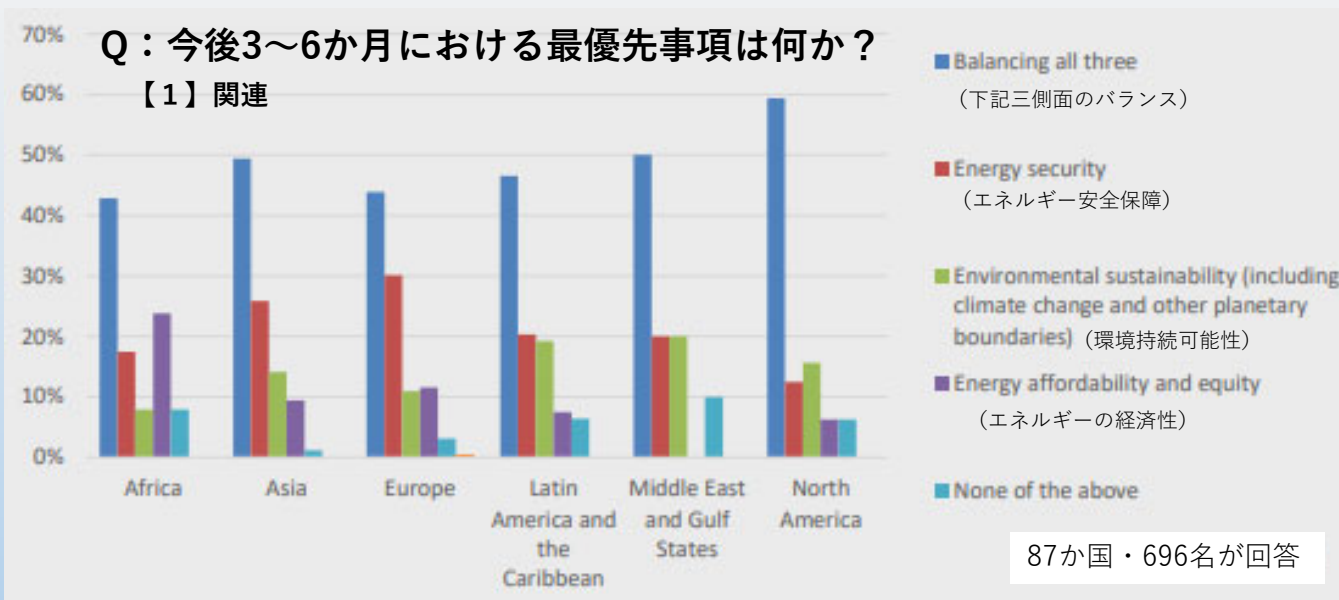
：回答者の50%以上が**エネルギー変革が加速**すると予想。アジア、ヨーロッパ、北米で顕著。

【3：グローバルで長期的な混乱の拡大】

：回答者の80%以上が、**欧州のエネルギー安全保障危機が自社に直接・間接の影響を及ぼす**と指摘。自国エネルギーのサプライチェーンへの影響、混乱の長期化・困窮化を強く懸念。

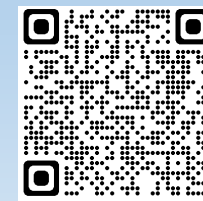
【4：政府介入への期待の高まり】

：回答者の86%が、エネルギー安全保障と価格安定への対処のための政府介入を期待しつつ、これまでは非常に限定的と回答。



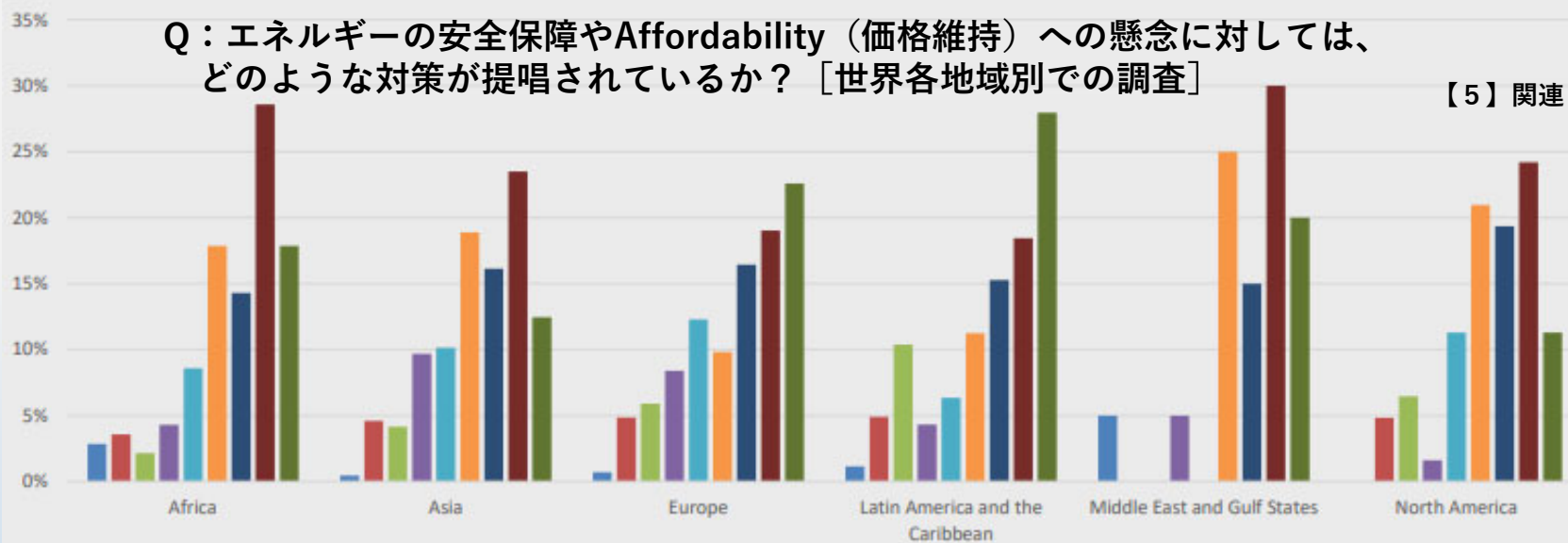
WEC HP; WORLD ENERGY PULSE

https://www.worldenergy.org/assets/downloads/World_Energy_Pulse_2022.pdf?v=1651662106



Q：エネルギーの安全保障やAffordability（価格維持）への懸念に対しては、どのような対策が提唱されているか？ [世界各地域別での調査]

【5】 関連



【5：ローカル（各国・地域）な問題にはローカルな解決策を】

：エネルギーミックス、多様化への投資をエネルギーの安全保障と価格の問題の対処への最重要事項と認識。世界各地域の事情に即した石炭や原子力発電の復旧・再開、電力市場の設計等の検討が開始されている。

【6：変化する投資環境】

：エネルギー多様化の概念に変化。石油・ガスは売却から一転、投資の活発化。
 ：需要マネージメントの一環としてエネルギーの効率的利用について注目大。
 ：世界各地でエネルギー貯蔵とインフラへの投資を優先事項として認識。

【7：分断されつつある世界、誰がリードするのか？】

：グローバル化の衰退で地域・局地的安全保障の優先度が高まる方向。
 ：政府、政府関係機関、大企業などのトップダウン型リーダーシップへ期待。

- No measures are required
- Windfall profits tax
- Wholesale market price caps
- Restoring retired coal and nuclear power generation
- Increase stocks and storage buffers
- New electricity market design (e.g., decoupling of renewable electricity prices from gas, stricter regulation of new market entrants and suppliers)
- Industry subsidies (incl. reduced energy tax/VAT)
- Increased investment in diversifying supply and/or increasing energy imports
- Domestic tariff price caps and household subsidies